

## 令和8年度都立松原高校定時制課程における教科指導の重点

生徒の「基礎(学力)の定着」を目標とし、以下の重点課題について各科目で取り組んでいく。

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・基礎的な語句を定着させる。 ・様々な文章に触れ、考える力を身に付ける。	・中学校で学ぶ語句から確認し、定期考査でその理解を確認する。 ・様々な文章を段落ごとに分けて読み取る活動を行う。	文章の読解後、気になるところや疑問に思う部分(問い)を出す。その後、グループでそれらを共有し、考える。
数学	数と文字を含む四則演算を処理する能力を身に付ける。	小学校課程の四則演算から確認し、中学の内容から高校の内容へと(数から文字を含む式へと)段階的に取り組んでいく。	基本的な公式を用いて問題を解き、途中式の過程を考察する。また、生徒自らが改善点を見つけ、生徒間で共有することのできる授業の実施。
英語	中学校で学習する基本的な単語や文法を身に付ける。	基本的な語彙や文法について、音読や書き取り、例文練習を通して繰り返し学習し、理解を深めながら着実な定着を図る。	学んだ語彙や文法を用いて、自分のことや身近な話題について、1~2文程度の簡単な英語で話したり書いたりできるようにする。
理科	実験の結果を客観的に記録することができ、主体的に考察することができる。	各単元で実験を1回以上行い、結果を記録する。また、その結果から判断できることを考察する。	実験の結果や考察から、主体的に日常的な現象と類似点や共通点を探し、知的好奇心を育む。
社会	世界の国名、日本の都道府県名と位置を正しく認識する。	授業用プリント、スライドを活用して視覚的に位置と名前を確認し、定期テストで定着の確認をする。	世界の諸問題について、地形や気候から地域の歴史を考え、積み重ねてきた文化を尊重・受容し、多文化共生の考え方を身に付ける。
体育	基礎体力の向上と、各種目においての基本的な技能を身に付ける。	・毎授業の初めに5分間走と筋力トレーニングを行う。 ・基本的な動作や技を繰り返し練習する。	・身に付けた技などをゲームや試合の中で、活用する。 ・身に付けた技などを友達に教える。
芸術(音楽)	基礎的な譜やリズムを理解する能力を身に付ける。	基本的な楽譜や中級用の小品等を使用して、基礎的な楽譜の理解を進める。	生徒自身が上達のレベルを考え、生徒自らが選択した曲を演奏会という形で、自分を表現する。
芸術(美術)	「描く」の基礎の充実と「表現する」の指導の充実。	基本的なグラデーションや道具の使い方を各単元の中で学習し、使えるようにする。	作品の掲示などを通じ、自分の作品と他者の作品に対し、意見を述べることで、美術に対する興味と鑑賞力を育む。
情報	問題解決のための「情報活用能力の育成」につなげる実習の充実。	最近の事例をもとに情報に対する接し方を考えてみる。	情報社会に主体的に参画できるように知識を増やす。
家庭	生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身に付ける。	被服製作や調理実習などの実習を通して、基礎的な知識・技術を習得できるようにする。	家庭生活の各分野で、環境に配慮した取り組みに向けて、できることを考えて実行していく。